

第5次安堵町総合計画・第2期安堵町まち・ひと・しごと創生総合戦略パブリックコメント実施結果

番号	ページ	対象となる施策内容等	ご意見の内容	町の考え方
1	5 14 30 38	現人口 財政力指数 広域行政課題 将来人口	安堵町の状況は現在人口が約7000人で令和27年には4900人程度と人口が30%減少すると予想されています。仮にそのような事態になれば歳入が大幅に減少し財政力指数も悪化する恐れがあります。行財政分野で広域行政が挙げられていますが、それについては今以上に進化してはどうかと考えます。そして広域における行政の統一化も視野に計画をまとめて頂くと有り難いです。	人口減少は、本町だけでなく、近隣市町、県・国が抱える最重要課題です。従来より奈良モデルなどにより広域連携に取り組んでまいりました。今後も情報技術の活用による業務の自動化や効率化、施設の有効活用など広域的に取り組めるものについては積極的に検討してまいります。
2	11 24 78 80 99	就業人口 土地利用 企業立地 まちかど指標 移住・定住	安堵町の実業人口は3258人でその内第一産業は94人(2.9%)となっています。また安堵町の総面積は4.31km <sup>2</sup> で用途別では市街化区域が1.2km <sup>2</sup> 、農業振興面積が3.1km <sup>2</sup> で、農地の面積構成比は35%を占めています。農業就業者が非常に少ない事を考慮すると遊休農地が数多くあるのではと推測されます。そこで基本施策において積極的な企業立地あるいは移住・定住の促進が挙げられている内、市街化区域の拡大による土地利用の活性化を図って頂きたいと考えます。	安堵町は、全国で7番目に小さい町です。限られた土地を、自然を残しながら、現状の土地利用比率の維持を基本として有効に活用していくこととしました。住宅用地については、新たな開発は行わず、既存宅地の活用を推進することとし、農地については、一定数の農業従事者を保ち、その保全に努めてまいります。また、現在開発されている事業用地については、企業進出の促進を図ってまいります。